

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
783	783	森林保育造林事業	01	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を实践する	06	06	農林業費
			02	02	林業費
			02	02	林業振興費
担当部課名		青山支所産業建設課	103	103	森林振興事業
作成者氏名	山内 敏	連絡先	52-3220	03	森林保育造林事業
			細々目		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
事業の目的	森林法による森林施業計画樹立森林	適正に管理された森林が整備される。					
本年度事業内容	施業計画に基づき、森林組合が行った流域公益保全林整備事業の共同施業に対し、造林、枝打ち、間伐他の施業経費の一部補助金の交付した。						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	森林法

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	590	4,338	4,500
	委託料			
	補助金	590	4,338	4,500
	その他			
合計(A+B)		1,310	5,058	5,220
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
一般財源		1,310	5,058	5,220
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
施業面積	ha	60.2	168.7	170			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
施業面積	施業面積の増加は適正森林の造成を意味し、その伸びが林業政策の指標そのものとなる。	ha	60.2 (目標)	168.7	170
			(目標)		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

長引く林業不況により、経済的メリットの少ない森林施業を行う森林所有者が年々減少しているため、森林環境保全のため、啓蒙を強化しなければならない。

評価	必要性	4	森林・林業施策としては不可欠の事業であるが、林業不況の先行きが暗い状況にあつては、拡大推進が困難であるが、国土保全のため、適正施業の推進に努める。	総合評価 <b>B</b>
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	3		